

会 議 録

会議名	第2回印西市地域福祉計画推進委員会
開催日時	令和元年12月6日(金) 午前9時30分から午前10時20分まで
開催場所	市役所会議棟2階会議棟204会議室
出席委員	松山 毅委員長、吉野 康夫副委員長、小林 久男委員、関野 庄悦委員、本田 薫委員、 岩本 清委員、渡邊 勝久委員、山野 幸子委員、近藤 幸一郎委員、三島木 健委員、 中村 智恵子委員 計11名
欠席委員	計 2名
出席職員等	[事務局] 社会福祉課 富澤課長、平川課長補佐、武藤係長、石井主査
傍聴者	2名
会議次第 議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 社会福祉課長挨拶 3. 議事日程 <ul style="list-style-type: none"> 日程第1 委員長及び副委員長の選出について 日程第2 会議録署名委員の指名について 日程第3 第3次印西市地域福祉計画進捗状況調査について 4. 閉 会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・印西市地域福祉計画推進委員会委員名簿 ・印西市地域福祉計画推進委員会設置要綱 ・【資料1】第3次印西市地域福祉計画進捗状況調査について ・【資料2】評価C・D事業の改善に向けての対応について ・【資料3】第3次印西市地域福祉計画達成状況(平成30年度)

会議概要・審議経過

1 開 会

資料の確認

会議の公開と傍聴について報告

会議の録音について報告

欠席委員の報告

2 社会福祉課長挨拶

富澤社会福祉課長からの挨拶

3 協議等

【事務局】 「印西市地域福祉計画推進委員会設置要綱」の規定により委員長が議長となるが、新委員長が決まるまでの間、富澤社会福祉課長に臨時議長をお願いしたいがいかがか。

【委員】 異議無し。

【議長】 それでは、委員長が選出されるまでの間、臨時に議長を務めさせていただく。本日の議事日程は、次第に沿って進めていく。

日程第1 委員長及び副委員長の選出について

【議長】 日程第1に入る。
委員長・副委員長の選出について、事務局からの説明をお願いしたい。

【事務局】 委員長及び副委員長の選出につきましては、「印西市地域福祉計画推進委員会設置要綱」第5条第2項の規定により、委員の互選によりこれを定めることとされている。従って、委員の皆さまから選出することになる。方法については、推薦方式を採用されてはいかがかと考えている。

【議長】 事務局より、委員長及び副委員長は「任命された委員」の中から推薦により選出するという提案があったが、いかがか。

【委員】 異議無し。

【議長】 委員長及び副委員長の選出方法は、委員の中から推薦により行うこととする。それでは、どなたか委員長及び副委員長を推薦していただけますか。

【委員】 任期満了までの委員会において、松山委員が委員長、吉野委員が副委員長でしたことから、両委員に引き続きお願いすることがよろしいと考える。

【議長】 委員長を松山委員に、副委員長を吉野委員をお願いすることについて、異議はあるか。

【委員】 異議無し。

【議長】 「異議なし」と認める。それでは委員長を松山委員に、副委員長を吉野委員に願います。松山委員、吉野委員、引き受けてもらえるか。

【松山委員】 はい。

【吉野委員】 はい。

【議長】 それでは、委員長が松山委員、副委員長が吉野委員に決定した。委員長が決定したので、臨時の議長としての職務を終わらせていただく。

— 議長を委員長に交代 —

【議長】 それでは、日程第2に入る。会議録署名委員の指名について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 本委員会においては、印西市市民参加条例及び同条施行規則の規定により、会議録を作成し、公表することとなっている。また、会議録の作成、確定の方法については、委員会等の実情に応じ判断することとしているが、事務局の案としては、会議録の作成方法については「要約方式」とし、会議録の確定方法については、「会議開催の度に委員長が指名する会議録署名委員2名で確認いただくこと」を提案する。

【議長】 事務局の提案のとおりとしてよろしいか。

【委員】 異議無し。

【事務局】 本日の委員会における会議録署名委員2名を指名していただきたい。

【議長】 本日の議事録署名委員は、「小林委員」「関野委員」を指名させていただきます。

【議長】 続いて、日程第3に入る。「第3次印西市地域福祉計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いしたい。

日程第3 第3次印西市地域福祉計画の進捗状況について

○事務局より説明

○質疑

【委員】 評価はどのようにおこなっているのか。また評価基準のようなものはあるのか。

【事務局】 評価方法は各課の自己評価でおこなっており、具体的な評価基準は定めていない。

【委員】 実際に市民がどう感じているかが大事である。報告書だとほぼ80点以上であるが、市

民アンケートの結果も同じような結果がでてくればいいが、そうでなかった場合は、考えていかなければならないことだと思う。

昨年の自己評価は厳しめな評価であっただけに、今年の評価が少し心配に感じた。

【事務局】 昨年度C、D評価だったものに対して、ヒアリングを実施し、改善を図ったことにより、今年度評価はだいぶ進捗が見られた。

また、今年実施したヒアリングでは、自己評価はC、Dと低かったものの、詳細に状況を確認すると、進捗が確認でき、評価がBになるものがいくつかあった。

【委員】 資料6 ページの学務課の学校教育での老人ホーム等の職場体験がA評価となっているが、老人ホームに実際行くのは、ほんの2、3名で、将来の職業体験授業（キャリア体験）である。また、小学校では各校の実情により、実施しているところと、していないところの差があると思う。評価理由も、少しずつれていて、本来のキャリア体験教育の内容から地域福祉の内容にすり替わっている。評価Aは過大評価と感じる。

資料6 ページのメンタルヘルスサポーター養成講座は、参加させていただいたが、非常に内容の濃いもので参考になった。この障がい福祉課の評価Aと指導課のAの差が大きく、自己評価の差異を感じた。

【委員】 資料2の4ページの緊急時要援護者登録制度とはどんな制度か説明してほしい。

【事務局】 この制度は特別の支援を必要とする方を対象に消防組合に登録申請をしてもらうことにより、救急活動発生時に、救急自動車等が速やかに出動できるといった制度。

【委員】 今年は台風の災害があったが、うちの法人では、独居の方が心配だったので、ケアマネと駆け回った。消防組合に登録するとの事だが、詳細は消防組合のホームページに載っているのか。

【事務局】 はい。

【委員】 ホームページを確認し、うちの法人の方からも対象者に申請を進めていきたい。

【委員】 資料4 1ページの防災課の防災行政無線、防災メール、防災ホームページ等による防災情報の発信の充実だが、先日の台風の時に市からいろいろと指示が出たが、国土交通省から利根川の決壊ということで避難勧告のような情報が入った。そこで、市の方に確認したところ、それは誤報との回答であり、どちらの情報正しいのか判断に迷った。こういった場合は、市は現状の正しい情報を速やかに提供する体制をとるべきであった。

【委員】 資料を一通り見させてもらったが、いい感じに進捗できていると感じた。ただ、評価の良い、悪いで判断しなくても良いと思っている。

今回の台風では災害の情報に関して判断がわからなかった。今回避難所に行きたいという人が何名か現れたので、避難していただいた。その時に、最後は自分の命は自分で守ってと伝えた。

- 災害のときは、日頃の心構えが一番大事であると今回の台風で実感し、地域福祉計画のような計画も必要だが、市民の意識改革が一番大事だと感じた。
- 【議 長】** 平成30年度取り組みに関する評価ということで、本来であれば6月くらいに議事としてあげるべきである。
- その他でお話をしようと思っていたが、今回台風15号・19号・21号に関しては、他市町村でも地域福祉の推進の中で取り上げている。提案しようと思っていたのは、次回の会議の時に実際の被害状況や各団体はどういう取り組みをしたのかという事を取り纏めて、共有していきたいと考えている。名簿を作るには作ったが、実際はうまくいったのか、民児協がどうやって情報を収集したのか、支部社協がどういった活動をしたのか、障がい者や高齢者施設はどういった対応をされたのかなど、そのあたり冒頭のところで共有を図り、話し合う時間を持ちたいと考えているが、如何か。次の策定に繋がる話でもあるので、是非よろしくお願ひします。
- 平成30年度の実績に関して、他に意見はありますか。
- 【事 務 局】** 委員長から提案のあったことに関して、市の取り組みに関しては取り纏める事はできる。民生委員や支部社協、施設に関しての取り組みはそれぞれ委員が属している団体として、取り纏めてきていただきたい。
- 【議 長】** 委員構成は支部社協がメインになっているが、委員が属している団体や施設として、取り纏めていただき、次回発表していただくこととしたい。他にも委員が所属していない団体については、事務局の方で整理していただき、委員の皆さまの方でこんな被害があったとか、こんな困りごとがあったとか、事務局の方からシートを送付するので、それに答えていただきたい。
- 印西市は広いので、印西市全体の被害状況というのは、住んでる方でもよくわかってないと思う。他市町であったのが、避難所を開設したが、避難指示が市民全員避難するのか、よくわからなかった。全員避難したら体育館がいっぱいになってしまう。地震の対策は考えていたが、水害の対策は実はあまり考えていなかった。
- 委員の皆さんは様々な活動されているので、色々な意見を出し合いながら考えてみたい。後日、事務局の方から依頼が届くのでお願ひする。
- 【委 員】** 複数年の計画なので、時系列でどのように評価が変わるかわかるようにしていただきたい。令和元年度の評価については、平成29年度、30年度、令和元年度の評価票としてほしい。その方が印西市として進捗状況が見えてくる。
- もう1点は、第1回の推進委員会のときに、印西市避難行動要支援者避難支援計画（案）の話しがあったが、その後の進捗状況はどうなっているのか。半年経っているが、市民にオープンになっていない。何をやっているのか。
- 【事 務 局】** 第1回会議でお諮りしたものを、すぐに防災課に報告したが、手続き上、まだ公表されていない状況です。
- 【委 員】** 早く公開すべきである。

【議 長】 その点は気になっていた。
この計画はつくりっぱなしになり易い計画である。介護や障がい者の計画は予算がついていたりするので事業評価しやすい。地域福祉計画は理念計画的なところがあり、なかなか評価しづらい。毎年、こういった事務事業評価をしているのは大変な努力だと思う。自己評価というのは非常に難しいので、この委員会で評価の在り方というのも議論してもよいと思う。
資料1の「計画改善等（次年度に向けて）アクション」の部分ができたか、どうかという評価が大事である。来年の評価の時には新規で実施したものは印をつけてもらえると、毎年実施してブラッシュアップしていく事業と、課題があつて新規で取り組んだ事業が一つでも二つでもあれば、それは努力だと思う。そういったものを示してもらうなど、見せ方を工夫していただきたい。
1点、気になったのが資料2のC評価であつた「社会福祉協議会の市内社会福祉法人施設長などの地域懇談会の開催」である。今回の災害では社会法人の取り組みというのが注目されていた。社会福祉法人がもっている機能をどのように、地域福祉に貢献してもらえるのかというのは、大きな社会資源の一つである。社会福祉法人同士の繋がりが遅れているというのは致命的な気がする。実際の評価は地域福祉活動計画と両輪で見えないと見えてこない部分なので社会福祉協議会にお聞きしたい。

【委 員】 平成30年度評価では、横の連携の必要性が低いとの意見を持つ法人があつたが、今年の災害などで認識が変わってきているところもあるので、そこを切り口に進めていきたい。
また、佐倉市、八街市はすでに設立しているので状況や効果などを確認しながら進めていきたい。活動計画の方でも推進できていなかった。

【委 員】 資料1の36ページ、「市民活動推進課の生活道路や公共施設、学校周辺等を重点とした防犯等の整備」に関してですが、町内会からの要望や学校周辺等を重点に防犯灯を整備したとなっているが、遠距離通学している地区もあるので、そういったところに積極的に防犯灯の設置などを進めていただきたい。

【議 長】 それではまだまだ、いろいろあると思いますが、このあとに、策定委員会を開催するので以上でしめさせていただきます。

4 閉 会

【事 務 局】 以上で、「第2回印西市地域福祉計画推進委員会」を閉会させていただきます。
ありがとうございました。

第2回印西市地域福祉計画推進委員会の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和元年12月23日

署名委員 小林 久男 _____

署名委員 関野 庄悦 _____